







～J R 両毛線利用促進アクションプログラム～

⑤ 週1回、月1回からの鉄道利用

「週1回、月1回でも」と言われてもピンとこないかもしれませんが、みなさんの暮らしに鉄道利用を取り入れるメリットは色々なところにあります。

その一例を紹介しますので、お出かけの際は、まず、「鉄道が使えるか」を最初に考えてみましょう。そこからみなさんのアクションが始まります。

子供を最寄り駅までの送迎に・・・	飲み会のある日に・・・	出張時に・・・
<ul style="list-style-type: none"> ○送迎に取られる時間が減り、何かと忙しい朝夕にゆとりが生まれます！ ○交通事故のリスクや渋滞に巻き込まれることが減り、安全で遅刻せずに通学できます！ ○友達とおしゃべりしながら楽しく通学できます！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩く距離が増えるので、おいしくお酒が飲めるかも！？ ○運転代行を頼んだり、ホテルに泊まったりの必要がなく、お財布にもやさしいです！ ○飲み会を切り上げる理由にも使えるかも！？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○渋滞などが原因で約束の時間に遅れることはありません！ ○自分で運転しない分、商談に力を入れられるかも！？ ○車内で資料を確認するなど、時間を有効に使えます！ 
駅近くの病院に・・・	買い物やイベントに・・・	県外への旅行に・・・
<ul style="list-style-type: none"> ○家族に送迎をお願いする心苦しさもなく、自分のペースで通院できます！ ○タクシー代の心配もありません！ ○車窓から見える沿線ののどかな風景が診察前の気持ちをリラックスさせてくれます！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場探しに時間をかけたりせずすみずみます！ ○同じ買い物先でも、いつもとは違う「旅行気分」に！？ ○渋滞のイライラからケンカになることもないかも！？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○高速道路の渋滞とは無縁です！ ○車出しや運転を押しつけられることもありません！ ○地域ならではの鉄道や駅弁など、旅行の楽しみが広がります！ 
<p>加えて、健康にも効果大！</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自動車だけでなく、鉄道などの公共交通を使って移動するほうが運動量が多くなるため、消費カロリーが大きくなります。 ◇例えば、通勤時に、公共交通を利用している人は、自動車だけを利用している人に比べて約2.5倍のカロリーを消費しているとの試算があり、この差はスポーツジムでの運動約40分に相当します。(出典：群馬県交通まちづくり戦略) ◇これが毎日のこととなれば、頑張らずにジムに行かなくても、無意識のうちに運動し、健康になってしまってもいいですね！ 		

⑥ 5年経過後、鉄道の利用状況を調査します！

前橋市・桐生市・伊勢崎市・みどり市にお住まいの方の「年間一度も鉄道を利用しない割合」が改善し、目標を達成できたかどうかを確認するため、あらためてみなさんに、鉄道の利用状況をお伺いする予定です。

両毛線の将来のため、一緒に目標達成しましょう！

お問い合わせ先

群馬県県土整備部交通政策課 TEL：027-226-2385

＜詳細については、群馬県ホームページをご覧ください。→  ＞

考えてみよう。 両毛線のこと。

鉄道路線緊急対策 【概要版】J R 両毛線利用促進アクションプログラム



このアクションプログラムは、平成30年3月に策定した「群馬県交通まちづくり戦略」に基づき、J R 両毛線（J R 前橋駅～J R 桐生駅）をもっと利用していただくための取組を取りまとめたものです。 ※新前橋駅は上越線のアクションプログラムで扱います。



考えてみよう。両毛線のこと。

～JR両毛線利用促進アクションプログラム～

群馬県が調査したところ、本県はクルマに大きく依存しているため、鉄道の利用者がとても少ないこと、また、少子化により、利用者はさらに減少する見込みであることがわかり、両毛線の今後にも大きく影響することが心配されます。

そのため、両毛線の利用状況やその役割を確認し、維持・活性化のための取組（アクション）を取りまとめました。

毎日の通学・通勤、ときどきの通院や買い物、そんな日常生活を支え、県内の主要都市の中心部をつなぐ両毛線が、これまでと変わらずあり続けるため、私たちができること――

① 両毛線はみなさんにとって身近な存在？

両毛線沿線4市（前橋市・桐生市・伊勢崎市・みどり市）にお住まいの**6割近くの方は1年で1回も鉄道を利用していません。**【図1】

両毛線の1日あたりの乗車人員は、平成29年度で約28,000人。運行規模を考えると、利用が増えてほしいところです。

鉄道が利用できる所に自宅や会社があっても、両毛線で通勤している方はわずか**10.0%**。自動車通勤している方はなんと**88.4%**、**1日あたり約12,800人**！このうち1人でも鉄道を利用してくれれば…同じ条件でも、通学目的では**63.3%**の方が両毛線を利用しています。

自動車と駅が使いやすくなつていないと思われているのかも？

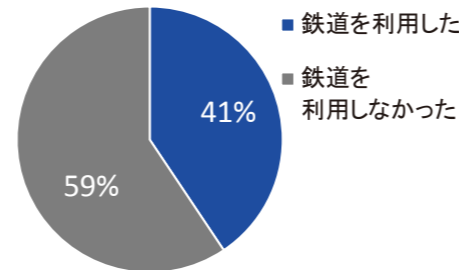


図1 ここ1年で外出時に鉄道を利用したかどうか（出典：パーソントリップ調査）

⇒ **クルマ社会に両毛線は必要ない？ いえいえ、そんなことはありません！**

② 両毛線は地域の暮らしを支えています

両毛線にお世話になった経験、ありますか？

沿線4市や高崎市など、**都市部**へ通勤・通学している多くの方を支えています。買い物、社交、レジャー、習い事、出張などでは、高崎市や県外など、お住まいの**地域外への重要な交通手段**となっています。【図2】

週1回や月1回といった定期的な**通院**の際の**大切な交通手段**にもなっています。【図3】

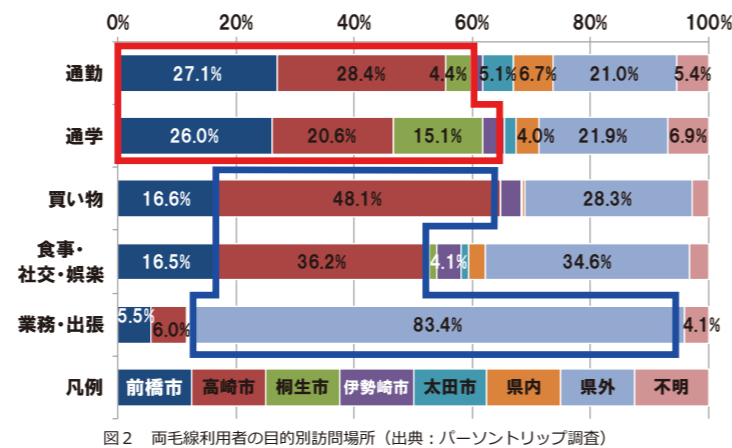


図2 両毛線利用者の目的別訪問場所（出典：パーソントリップ調査）

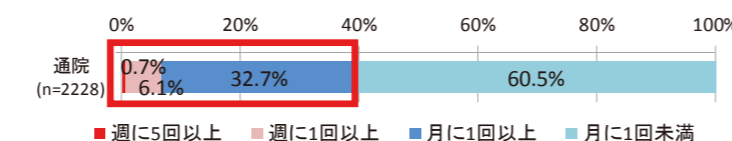


図3 通院での両毛線利用頻度（出典：パーソントリップ調査）

⇒ **両毛線は、お住まいの地域で安心・豊かに暮らし続けるために、都市の活力とみなさんの活動を支えています。**

③ このままの利用で今後も大丈夫？

これまでの利用と変わらなければ、少子化の影響により、通学利用者は、**20年後には約40%の大幅減少**。鉄道会社が、**やむなく運行本数などを減らす**ことも考えられます。【図4】

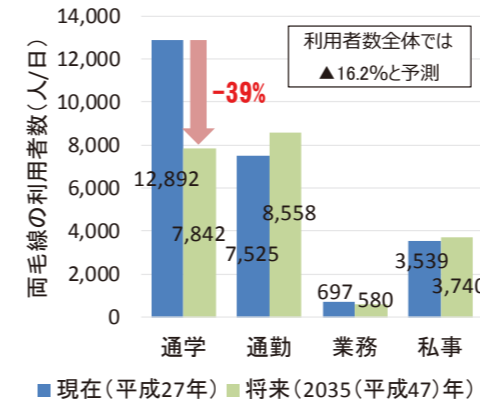


図4 利用者数の将来推計（出典：パーソントリップ調査）

そうすると、学生は、帰りの時間が合わず、部活動が思うようにできない？ 会社員は、列車の接続が悪くなり、通勤時間が大幅に増える？

さらに…

商談や出張などで来訪してもらえず、ビジネスに影響する？ まちの魅力がなくなる？ 駅周辺のお店や会社が撤退する？

両毛線沿線での暮らしやビジネスにも影響があるかも？

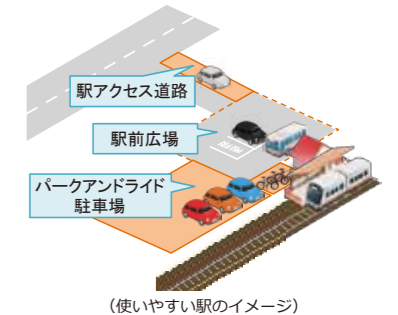
⇒ **今から鉄道利用を増やしていきたい！**

④ 両毛線沿線地域で暮らし続けるためのアクション！

～行政が駅と自動車をつなげ、みなさんが鉄道を利用、鉄道会社が運行確保～

<行政のアクション>

両毛線は、「駅で車から鉄道に乗り換えるための駐車場（パークアンドライド駐車場）」などがおおむね整備されており、他の路線と比べて**駅は使いやすくなっています**。岩宿駅では、駅周辺の混雑解消のための本格的な周辺整備も検討中。



（使いやすい駅のイメージ）

そうした環境を有効活用し、みなさんにもっと鉄道を利用していただくため、

例えば、駅周辺の駐車場情報や駅でのバスへの乗換情報の発信、さらには駐車場料金の補助など、**鉄道への乗換えの抵抗感を少しでも和らげる**取組を検討します。



<目標> 年間一度も鉄道を利用しない割合を改善します
59% ⇒ 5年後に49%へ

<みなさんのアクション>

利用しやすくなった駅や鉄道をどんどん使ってください！週1回、月1回でもいいのです。

<鉄道会社のアクション>

安全運行を第一に、利用者の信頼確保に努めます。

⇒ **両毛線の将来のため、一緒に行動していきましょう！**